

学 園 通 信



No. 271

九里学園高等学校 P T A

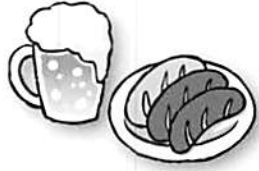
2017.7.24 発行



● 特 集

Welcome AFS Students

体育館に続き 中央校舎完成!!

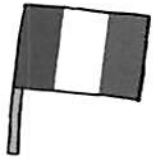


Germany(ドイツ) セドリックさん

SGHや国際交流に特に力を入れている私達にとって、セドリックとの交流はとても考え深いものとなりました。海外の人ともっと交流していきたいと感じ、自分自身の将来にも大きくプラスになりました。

三年六組 鈴木 暢恵

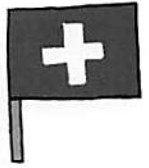
プラスな出来事



私のクラスでは、みんなで上杉神社へ行きました。私は3人から学校の制度や授業教科の話聞き、お互いの国に取り入れたいシステムについて、話し合ったことが、一番印象に残っています。短い間でしたが貴重な経験となりました。

三年六組 遠藤 菜穂

セドリックと交流して



Switzerland レイラさん

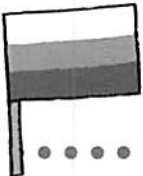
初めて海外の方と交流し、直接スイスの生活や有名なもの、言葉を知ることができ、普段私たちがあたりまえだと思っていることがあたりまえではないのだということを改めて感じました。

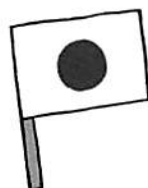
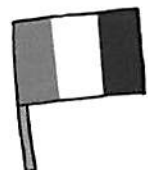
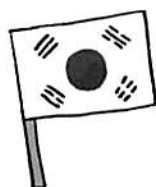
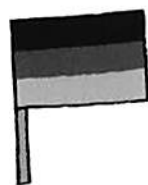
一年五組 梅津 寧々

初めての経験から



長い間の国際交流で頂いたものが展示されています。カフェテリアで是非見て見て下さい。





5/29~6/2
ようこそ九里学園へ



Hong Kong
ノラさん

近い国でありながらも香港の文化、生活、価値観について改めて知ることができました。また香港と中国はあまり違いがないと思っていましたが、ノラからの話を聞いて知ることができノラとの交流が自分にとって良い経験になったと思います。

三年四組
志賀菜々子

異国の文化



ノラさんと交流したことで、文化の違いなどを共有することができました。ノラさんが一年間地元を離れて日本に来たことに感心と勇気もらいました。

一年四組
半田 麻帆

バディ生徒をして

出会いを大切に

PTA会長 加藤 淳一



新年度が始まり約三ヶ月が経ちますが、一年生は新たな出会いもあり

新しい仲間が増えたのではないのでしょうか。二、三年生は新しい出会いが少ないかもしれませんが、現在の仲間と今後の新たな出会いを大切にしてほしいと思います。十人十色というように同じ考えを持つ人だけではなく違う考えを持つ人もたくさんいます。楽しい事だけでなく、一緒にいても考えが合わず嫌な思いをする事もあるかもしれません。しかし、違う考えがあるからこそ、考えを見直すチャンスでもあり、新たな気づきにもつながると思います。人が成長するときには人と人のつながりの中で育ちます。多くの出会いを大切に、学ぶチャンス成長するチャンスを作ってください。

保護者の皆様にはPTA活動にご協力いただきありがとうございます。生徒達と関われる貴重な三年間ですので、多くの活動に積極的に参加していただければと思います。今後ともご協力をよろしくお願いたします。

夢に向かって

三学年部長 高橋 和浩



夢は大きく持つて下さい。そしてたくさん持つて下さい。夢を持つ

と、その夢に向かって何をすべきかと目標をたてる事ができると思っています。大きな目標から、目の前にある小さな目標など、日々の生活にも、めり張りができると思います。しかしその目標は、上手く行く事ばかりではないでしょう。大きな目標大きな夢ほど思いに届かず、悩んだり苦しんだりする事もあると思います。それでも、泣いたり跳きながら達成できた目標は宝物です。でも達成できる事が方々難しいのが現実なのでは。たとえ目標が達成する事ができなかつたとしても、一生懸命に立ち向かう事が、これから生きて行く中で、本当の宝物だと思います。つまずきながらも頑張るあなた方の姿を見てみると、親、先生方、周囲の大人達も、一生懸命応援してあげたい！何とか達成させてあげたい！と思います。これは無理と思わず、思い通りに進んで下さい。夢に向かって、今を精一杯生きて下さい。頑張れ!!

人間関係能力アップ

二学年部長 高梨 進



人間関係能力とは、何かと言いますと、すなわち「相手の身になって考

える」能力のことです。自分は、相手の人とは異なる人間ですから、相手の身になって考えるには、想像が必要になります。想像したり、空想する能力は、主に、右脳のはたらきです。「この人は、どんな立場なのか」とか「どんな気持ちでいるのかな」とか「何を望んでいるのかな」とか空想力をはたらかせて、イメージを膨らませる練習をするのです。そして、毎日毎日続けていけば、右脳が鍛えられて、次第に、瞬時に相手の身になって考えられるようになります。そして、一瞬で、相手の身になって考えることができるようになれば、いつも相手が喜ぶ言動を取ることができるようになり、周囲から感謝され、引き立てられるようになり、人間関係に成功するようになります。また、人間関係に成功すれば、仕事も事業も成功に向かいます。是非、この人間関係能力アップに努めてみてください。

大志を持つて

一学年部長 中村 浩



入学して三ヶ月が経過しました。学園生活、新たな友人、先生、勉強、

部活動など短期間で全ての事を吸収・消化され相当気疲れしたのではないのでしょうか。その緊張もほぐれ、これからの自分らしさを発揮する時です。

さて、ここで今一度振り返り、この九里学園を選択した理由や何を目指すのかを問いただして下さい。部活動であれ勉強であれ目的意識を明確にしないまま流されれば、あつという間に三年間が終わってしまいます。一年生のこの時期に将来の自分のあるべき姿を描ければ充実した高校生活を過ごす事が出来るはずです。

学園生活ではつらい事、楽しい事、悲しい事、嬉しい事様々あるでしょう。その体験が多いほど奥の深い魅力ある人間になれるます。楽な選択ではなく、つらくても身になる選択ができる生徒になつてもらいたいと思います。

「一年生、大志を持つて頑張れ」

もっと楽しい学校へのチャレンジ ・・・中央校舎改築

校長 九里 廣志

校舎に囲まれた真ん中の狭いスペースで、一番工事が難しい、でも全ての校舎とつながっているため一番大切な「中央校舎」の耐震改築が、新学期を直前にして無事終了しました。本校の校舎では木造校舎を除けば最も古い校舎で、しかも最後の工事でしたので、この改築には、新しい教育を進めてゆくためのさまざまな思いが寄せられたのでした。一階部分のカフェテリア（含む・展示スペース）、二階部分のラウンジ（職員室）や職員ロッカーなどの既存の機能を残しながら、今まで少なかった倉庫機能や面談室などを確保し、そして一番は、今までバリアフリーになっていなかった三階部分を、誰もが自由に移動し使えるものにしたという、皆の知恵を振り絞った検討が行なわれたのでした。これ以上エレベーターを設置することはできませんので、既存校舎から廊下を伸ばしてつなぐことが検討されました。さまざまな条件をクリアした設計が行なわれ、社会・国語教室からの「空中渡り廊下」で無事つなぐことができ、利用が可能になりました。

三階部分はこれからの「新しい教育を進めるためのスペース」としての夢が語られました。いわゆる「アクティブラーニング」を積極的に推進するために、どんなスペースにするのか、机椅子からホワイトボード、投影機などまで、どんなものが効果的に使えるのかを皆で検討しました。今までも既に実践してきた新しいスタイルでの授業を展開するには何が必要なのかと具体的な意見がベースにありましたから、使いやすい素敵なスタイルの教室になったのではと思っています。そして「良くて安いもの」を探してくれた教頭には感謝です。

新年度になって、この教室では本当に楽しく活気ある授業が展開されています。生徒たちの



エアコン充実！ アクティブラーニング室

活き活きした様子を見てみると、教員たちももっと良い授業をしたいと思うのですね。「授業研究をするので手の空いている先生は参加していただけますか？」そんな連絡に、多くの先生が参加し、楽しそうに生徒の役を務めてくれています。

新カフェテリアも、今まで以上に皆の安らぎの場になってくれています。笑顔あふれた新校舎での皆の活動の様子からは「高校生活や勉強が楽しい！」との気持ちが伝わってきます。



にぎわうカフェ

アクティブラーニング室を使ってみて、電子黒板で授業が行えることは時間短縮になり、動画を見ることもできるのでより学びの質が上がると思った。グループ学習ではホワイトボードを利用できるのでやりやすくなった。

快適になった

三年六組 東端あつさ



被災地ボランティアに行ってみた感想

一組 島貫 祐真

二日間被災地ボランティアに行ってきました。今の宮城県南三陸町では、今も復興に向けて頑張っていました。僕達の協力で被災地は少しでもよくなって欲しいと思いました。二日間被災地で学んだことを生かしていきたいです。

被災地ボランティア

一組 山口 大地

僕は、今回の被災地ボランティアを通して、3・11東日本大震災の怖さを改めて知りました。また、海外の人と交流することで復興に向かっているということをとっても実感することができるいい体験でした。

被災地ボランティア

二組 後藤 翼

僕は今回、南三陸町に行った事が、心に残っています。なぜなら、復興工事が今もまだ続いており、津波によって破壊された南三陸町の防災庁舎の鉄骨がそのまま崩れそうな状態で建っており、自然災害の恐怖を感じました。



被災地の今

二組 佐藤 遼汰

僕たち一学年は、二日間被災地でボランティアをしました。牡蠣の養殖や、南三陸町の今を体験し、学んできました。六年間経った今、被災地はまだ復興という状況ではないと改めて被災地の今を学びました。



ボランティアを通して

三組 情野 大河

私は、被災地でワカメの袋詰め、袋綴じの作業を行いました。震災当時の話を聞いて改めて悲惨さを知り風化させてはいけないと思いました。

被災地で感じた事

三組 菊地 悠平

私は初めて被災地にボランティアをしに行きました。建物など修理されている所もあれば、何も無くなっていたりしている所もあつてすごく驚きました。このような経験を生かして、命を大切に生活していきたいです。



ボランティア 1 学年 ～ 平成29年6月8～9日

被災地を訪れて

四組 田澤 華

私は今回被災地に行って、海のそばに何も無いのを見て、「津波が建物などをみ込んで何もなくなってしまった」、という実感が湧きました。普段は考えないことを考えさせられるいい経験ができた二日間でした。

震災から六年経った今

四組 情野 未悠

二日間、宮城県で被災地ボランティアを行って、改めて震災の恐ろしさを実感しました。少しの時間しかお手伝いする事はできなかったけど町の人が喜んでくれて嬉しかったです。震災の事を忘れず過ごしていきたいです。



六年経った今の被災地

五組 赤木 美月

学年行事で、私たちは宮城県に行き、牡蠣作りやバスツアーなどを体験してきました。被災地は、まだ復興途中でした。見ているだけで心が痛くなるような景色もありましたが、復興に向けて前向きに生活している今の被災地の現状を見れて、すごく良い経験になりました。

～ 宮城・被災地ボランティア

被災地ボランティアを終えて

六組 山口 未紗

実際に被災地に行ってみて、被災地の人たちが感じたことなどをたくさん知ることができました。震災でとてもつらい思いをしたのに、私たちを笑顔でむかえてくれてうれしかったです。

被災地ボランティア

六組 石川 美咲

日頃テレビなどでよく聞く「復興」というものの現状を肌で感じる事ができました。被災地の方々と触れ合う中で、改めて東日本大震災のことを忘れてはいけないと感じました。貴重な体験ができて良かったです。

明るい未来へ

五組 渡邊 琴巳

私は今回被災地へ行き、改めて津波の怖さを知ることができました。まだ震災前の状態には戻れていませんが、被災地の方々は一日でも早く復旧できるよう、明るく前向きに頑張っていて、私も勇気もらいました。



2学年男子 6/8~9

吾妻山

史上最悪の登山

二年一組 阿部菜雄登

僕達、二年ユニ男子は学年行事で西吾妻山へ登ってきました。天気はあいにくの雨と風で苦しい登山になりました。前半は険しい山道を進み、後半は残雪の上を滑らないように進みました。途中で一人が両足をつり、病院に運ばれる事態がありました。無事に登山を終える事が出来て良かったです。今回の登山で学んだことを生かしていきたいです。



学年行事を終えて

二年二組 菅野 紘平

僕たちは、西吾妻山に行ってきました。当日は、悪天候の登山でした。登り道は、岩場や雪道で急な斜面が多くとても大変でした。登頂した後の下山が道がなく雪道の斜面を下りてきました。雨の降る中での登山で、仲間と協力し、助け合いながら登山できたのでよかったです。仲間との絆がより深くふかまったのでよかったです。



2学年プログレスコース

仙台キャンパスツアー 6/8~9

ツアーの経験を進路に生かす

二年七組 菊地二千華

私達プログレスコースは、六月八日と九日の二日間、仙台キャンパスツアーということで、四つの大学を見学してきました。今回は看護に関する説明がメインの大学が多かったのですが、良い経験をする事ができました。私達はこれから、自分達の進路を本格的に考えていきます。今回のツアーの経験を生かし、確実に進路を固めていきたいと思っています。





私たちは今回の登山を通して、
 今まであまり話したことのない人
 とも仲良くなれて、お互い協力し
 合うことができました。最初は、
 雨で登れないと思っただけれどコー
 スを変更し、約二時間半みんな
 声をかけ合い励まし合いながらケ
 ガなく登りきりました。ホテルで
 も時間を守り、レクリエーション
 も団結して行い、大変素晴らしい
 学年行事になりました。

新たな絆

二年五組 嵐田 郁寧



最&高の夜 猫魔ヶ岳



2学年女子
6/8
~9

二年四組 二宮 翔香

今回雨天の為、予定よりも早く
 登山が終わり、ホテルの大広間を
 使い、レクリエーションをやりま
 した。各クラスの発表で私たち四
 組はアカペラで四曲を歌い、練習
 よりも良いものになりました。サ
 プライズで先生方がダンスをして、

普段の姿とは違った一面を目にし、
 最高に盛り上がりました。全員が
 一つになって心に残る思い出を作
 ることができました。



in 庄内

庄内旅行を終えて

三年一組 高橋 祐裕

三年男子一組・二組合同で庄内旅行に行ってきました。初日は天気が悪く雨も降りましたが、二日目は天候にも恵まれいい旅行になりました。男子は初日に海向寺で即身仏を見たり、加茂水族館に行ったりとても充実した一日を過ごせました。二日目は酒田米菓に行ってきたので煎餅を食べたり、湯殿山へ参拝に行ったりいい旅行になりました。野球部が東北大会のため不参加で全員での旅行というわけにはいきませんが、思い出に残る旅行でした。これからの学校生活も男子全員でいい一年にしていきたいです。



庄内旅行

三年二組 伊藤 匠吾



私達は庄内旅行に行ってきました。海向寺で即身仏を見てきて、難行の末、即身仏となった人達の歴史などを学んできました。次に加茂水族館に行き、世界一を誇る数のクラゲの展示を見ました。湯殿山神社参拝では神域に入る前に御祓いを受け、人形で穢れを拭いて素足で参拝など普段とはちがった参拝をして来ました。今回の旅行は、一組二組合同の旅行でしたがみんなで協力して、いい庄内旅行にできたと思うので良かったです。

庄内旅行

三年六組 渡部 茉衣

庄内旅行で、羽黒山・湯殿山・海向寺へ行きました。また、御祈禱やビザ作り体験もしました。特に印象深かったことは、羽黒山の二千段以上という過酷な石段を登ったことです。とても辛かったけれど全員で登りきって達成感を得ることができました。今回の旅行を通して、辛いことも諦めずにつきつめていくことが大切だと学びました。三年最後の旅行にクラス全員で行けたので良い思い出になりました。これからは受験に向けて、勉強に集中していきたいと思えます。そして、お礼参りの時に全員が良い報告できるようにしていきたいです。



庄内を学ぶ

三年三組 小貫 夢海

三組は、山形県民として庄内地
方の歴史や良さを学び、進路実現
に向けてクラスの絆を深めるとい
う目的で行ってきました。一日目
は舟下り、羽黒山登山と御祈禱
鶴岡市内巡りをしました。三組は
進学クラスということで御祈禱を
して頂きました。二日目は加茂水
族館、海向寺見学、そして昼食に
海鮮丼を堪能しました。海向寺で
は即身仏を拝見し断食などの厳し
い修行の過程や即身仏になる意味
などをお話して頂き、とても心に
響きました。旅行を通じて同じ山
形県でも地域の差を感じました。
また絆も深まり、進路実現に向け
気が引き締まりました。



思い出モリモリ

三年四組 井上 美優

私達四組は、二日間の庄内旅行で
九つの施設を回りました。山形県に
住んでいても、初めて知れることはか
りでした。五感で感じられるスポッ
トへ行ったり工場見学や羽黒山で御
祈禱をしてもらうなど自分達のため
になる体験ができました。旅行では
夜、先生が準備してくれた花火をみ
んなでやりにいい思い出ができました。
その他、加茂水族館で癒やされてエ
ネルギーを沢山もらいました。
さまざまな場所で全員で写真を
撮ったりとルールを守り笑顔で研修
を終えることができてよかったです。
これからは全員合格を目指し全員で
頑張っていきたいと思います。

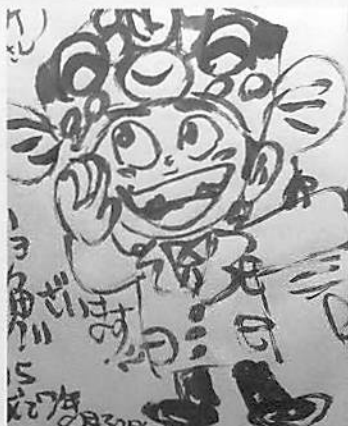
即身仏として生き続ける

三年五組 渡部 稀子

庄内旅行では改めて山形の文化を
知る研修ができた。初体験の最上川
舟下りでは、川を下りながら風の匂
い、川の音、鳥の鳴き声など、私達
の五感が呼び覚まされる貴重な時間
だった。海向寺では即身仏について
理解ができた。自らの肉体を仏とし
てこの世に残すために五穀断ちし十
穀断ちし、五年から八年かけて体を
極限まで絞り、地面の縦穴に三年三
か月お経を息絶えるまで唱えた後の
姿であるなど、今の世界に体を残す
ことで、人々が病や災難から救われ
るためという思いを知り、心から心
身を清められ、本気で立ち向かおう
と誓った研修になった。



さかなくんも
やって来たんだよ！



すごいぞ!! 九里



歴史を変えるために

三年二組 清野 涼

今回は、二年連続三回目の東北大会出場を果たした。誰もがこの結果を予想しなかったと思う。自分たち自身、県大会での試合を重ねていくうちに成長し、強くなっていた実感はある。一つ上の先輩方と比べられると去年から言われてきたが、長く辛い冬を乗り越え先輩方と同じ舞台までこれるほどの力をつけることが出来たということは大きな自信にもなった。

そして、県第三代表として臨んだ東北大会。昨年の記録ベスト8を超えるべく戦った。一回戦から延長戦となる厳しい戦いだったが、チーム一丸となり勝ちにつなげられた。次の東北高校戦は昨年のリベンジ。昨年を越えるために絶対に倒さないとけない相手。しかし、三十四で負けてしまった。だが、強豪相手でも堂々と戦いぬけた。この一点の差をしっかりと自覚し、夏の本番では、一点ゲームをもつてできる精神力とチーム力をもつて勝ち上がり、甲子園出場を決めたいと思う。

インターハイにむけて

三年一組 齋藤 諒平

今年は何で元でインターハイが行われるとやる事で、懸けるという思いが強いのと思います。去年、部員の多くが怪我に泣かされたインターハイでした。ですが、今年は去年とは違うというところを見せる為にも、全員入賞という強い信念をもつて挑んでいきます。そして、焦らず、慌てず、諦めず、を合言葉に、選手一同一致団結して、九里の代表として、山形県の代表としてがんばってきます。

東北大会に向けて

三年三組 黒田 侑花

私たち水泳部は、東北大会に出場するのを目標に頑張ってきました。百分の一秒を争う世界で〇・〇一秒でも伸びるようにホームを直したり、コーチがいらないなかでも積極的に練習を行っています。

その成果を発揮して、東北大会に出場する部員みんなが良い結果が出るように、チーム一丸となって頑張ります。私自身、三年間の集大成として最後に良い結果で悔いなく終われるように頑張ります。



編集後記

新しい広報委員で、今年度第二号をお届けします。入学後から色々な行事が目白押しの一年生、各行事の中堅どころ二年生、全てが高校最後の思い出になる三年生…生徒の皆さんにはぜひ、充実した日々を過ごしてほしいものです。

(広報委員会委員長 鈴木由美子)

スクールカレンダー

8/25(金)~26(土) 九里祭	11/10(金)~18(土)
9/13(水) 創立記念式典	プロ国外研修 (ハワイ)
10/ 6(金) 体育祭	11/13(月)~11/22(水)
11/13(月)~18(土)	ユニ男女国外研修 (オーストラリア)
ユニ男子国内研修 (沖縄)	11/30(水)~12/ 1(金)
11/12(日)~16(水)	定期試験(後期中間)
ユニ女子国内研修	
(沖縄、東京、奈良・京都)	